

(3) 中学校1学年での指導

こんな実践

小学校で英語に慣れ親しんできた生徒たちは、英語を聞くことや話すことに意欲的に取り組んでいます。小学校英語で行ってきたやり取りを中学校で引き継ぎ、即興で伝え合うことができるようにすることをねらった実践です。

実践学校 中学校 (学級数：15 生徒数：497)

実践学年 1 学年

実践時期 通年

単元・題材名 全単元

学習指導要領との関連 エ 話すこと [やり取り] (ア)

- 即興で伝え合うためには、その場で適切に対応する力が生徒に求められます。ここではじめに、教師と生徒でやり取りを行います。生徒の知っている表現を繰り返し用い、生徒が小学校で学んできた表現や中学校で新たに学習した言語材料を扱います。文法事項の確認や表現の練習に加えて、内容が充実したやり取りができるよう、生徒の興味・関心に応じた話題を教師から提供することを心がけています。例えば、which を学習する導入場面では次のようなやり取りを行いました。

	Teacher	Student
生徒が話した英語を繰り返して使っています。	Which do you like, summer or winter? A さん	
		I like winter.
	Oh, you like winter. Tell me good points in winter.	
返答に困っている場合には、答え方を例示します。		Snow.
	Oh, you like snow. Good. What do you do with snow?	
		... (そりをするって英語で何ていうのかな?)
	I make snowmans, I have a snowball fighting, I make kamakura...?	
やり取りの中で生徒に英語もインプットしていきます。		I play...そり.
	Oh,そり! You go sledding. It's interesting. With your friends?	
		No, my brother and sister.
	With your brother and sister. That's nice.	

- 継続的に様々なトピックで生徒とのやり取りを行いながら、学習内容の定着を

第4部 グローバル・コミュニケーション 第III章 1 (3) 実践事例

図っています。同じトピックを繰り返し扱うこともあります。即興的なやり取りを行うためには会話を継続させる表現や、内容を発展させる質問が必要となります。対話の流れや相手の答えに関連のある質問を **Good questions** とし、生徒自身がやり取りにつながる質問を考える活動も繰り返し行っています。which の学習後、別単元の授業冒頭で次のようなやり取りをしました。

Teacher	Student	Other students
It's getting cold. Is it cold today, right? What season is it now?		
	It's fall.	
Yes. It's fall now, and the next season is ...?		
	It's winter.	
Yes. The next season is winter. So which do you like, fall or winter? Bくん, tell me.		
	B生:I like winter.	
Oh, you like winter. Tell me good points in winter.		
	B生 :Ah... I like oranges. Oranges are delicious.	
Oh, You like oranges, and oranges are delicious in winter. I see. Bくん likes winter and oranges. Someone good questions, please ask.		
		C生:Do you like <i>iyokan</i> ?
	B生:No, I like normal oranges.	
		D生:Do you like oranges and <i>kotatsu</i> ?
	B生:Yes, I do. I love <i>kotatsu</i> .	
		E生:How many oranges do you eat every day?
	B生:One. I eat one.	



ここがポイント!

- 小学校で学習した表現に、中学校で学習する表現を加えたやり取りを繰り返し行いましょう。
- 内容面に意識を向けながら、自分の考えや気持ちなど、伝える内容を大切にしたりやり取りを繰り返し行いましょう。

まとめ

小学校でのやり取りを引き継ぎ、生徒が既習表現を用いたやり取りを繰り返すことで、自ら思考し、自分の考えや気持ちを伝えることができるようになってきました。